

金融市場NOW

GDP600兆円に向けた成長戦略

第4次産業革命で新市場創出

政府は19日の産業競争力会議において、『新3本の矢』でめざすGDP600兆円経済の実現に向け、新たな有望成長市場創出・拡大を目玉とする成長戦略の全体像(案)を示しました。

現在およそ500兆円の名目国内総生産(GDP)を2020年頃に600兆円にまで高めるために、ロボットやIT(情報技術)による第4次産業革命で新しい市場を創出することを柱に据えています。また、高度人材に永住権を認める体制も整備していく考えです。政府は600兆円に向けた「官民戦略プロジェクト10」(仮称)をかかげています(下図)。

『(旧)3本の矢』により、円高、高い法人税、環太平洋経済連携協定(TPP)妥結の遅延等は解消の方向へ向かいつつあり、民間投資を生む環境は整いつつあるように思われます。

しかし、新たな有望成長市場の創出・拡大や、人材不足を克服するための生産性の抜本的な向上、新たな産業構造を支える人材の強化など、GDP600兆円実現に向けてはまだまだ課題が残りそうです。また、各分野ごとに数値目標を置いたものの、実現に向けた具体的な道筋を示していくことも今後の課題になると考えられます。

次期『日本再興戦略』(案)

官民戦略10分野	主な内容	数値目標
新たな有望成長市場の創出		
第4次産業革命	<ul style="list-style-type: none"> 自動走行、ドローン(3年以内のドローン配送実現) FinTech(フィンテック(ITを駆使し、新たな金融サービスを生み出す等の動き)) 	付加価値創出 2020年に 30兆円
世界最先端の健康立国へ	<ul style="list-style-type: none"> 健康・予防に向けた保険外サービス促進(4兆円の市場創出) ロボットやセンサーを活用した介護の負担軽減 	市場規模 2020年に 26兆円
環境エネルギー制約の克服と投資拡大	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ(産業トップランナー制度を3年で全産業の7割に拡大、中小企業の支援) 燃料電池自動車の本格的普及など水素社会の実現 	エネルギー関連投資 2030年度に 28兆円
スポーツの成長産業化	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の多機能化、スポーツとIT・健康・観光・ファッション等との融合・拡大 	市場規模 2025年に 15兆円
既存住宅流通・リフォーム市場の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 資産価値を評価する流通・金融等の仕組み構築 	市場規模 2025年に 20兆円
ローカルアベノミクスの深化		
サービス産業の生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> 生産性伸び率を2%へ倍増 固定資産税軽減、地域金融支援 	付加価値 2020年に 410兆円
農業改革・輸出促進	<ul style="list-style-type: none"> 農地集約、生産資材のコスト低減、農産品の流通構造改革 スマート農業、産業界と農業界の連携体制構築 	6次産業市場 2020年度に 10兆円
観光立国	<ul style="list-style-type: none"> 地域観光経営の推進、観光経営人材の育成 	外国人旅行消費額 2030年に 15兆円
2020年オリンピック・パラリンピックに向けた見える化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 公的サービス・資産の民間開放拡大 	10年間で事業規模を 12兆円 に拡大
国内消費マインドの喚起		
官民連携による消費マインド喚起策等	<ul style="list-style-type: none"> プレミアム商品券発行 	



規制・制度改革	規制改革、行政手続簡素化・IT化	
人材育成・活用	高度人材の永住権を緩和	
海外成長市場取り込み	インフラシステム輸出の拡大	2020年に 約30兆円

出所: 第26回産業競争力会議の資料を基にニッセイアセットマネジメントが作成